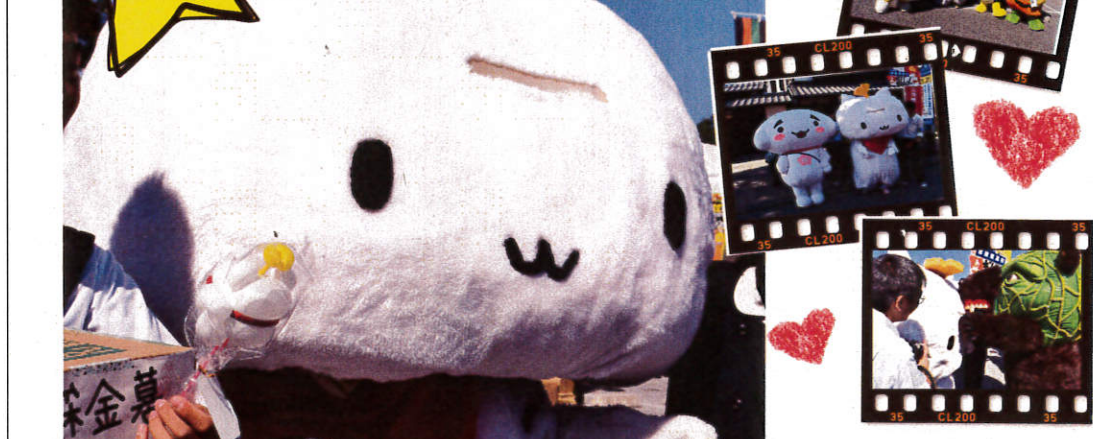


ゆるキャラ博in彦根開催



ぎんにゃん今年も頑張りました



10月15日・16日にキャッスルロードや夢京橋など中心市街地で「ご当地キャラ博in彦根2016」が開催され、たくさんのご当地キャラが集まり、そこに本校の公式キャラクターの「ぎんにゃん」も参加した。「ぎんにゃん」は本校の新聞部員と一緒に募金活動を行ったり、他のご当地キャラと交流し一緒に写真撮影を行ったりした。「ぎんにゃん」は会場を歩いてPRを行い、「ご当地キャラ博」を訪れたさまざまな人と触れ合っただ。ぎんにゃんと交流した人からはかわいいという声が多く聞かれた。

彦根東高校新聞

速報新聞
キマグレ
発行所
彦根東高等学校
新聞部
彦根市金亀町4番7号



「あき彦」と交流する「ぎんにゃん」



▲ぎんにゃんグッズの販売と募金活動も行った。

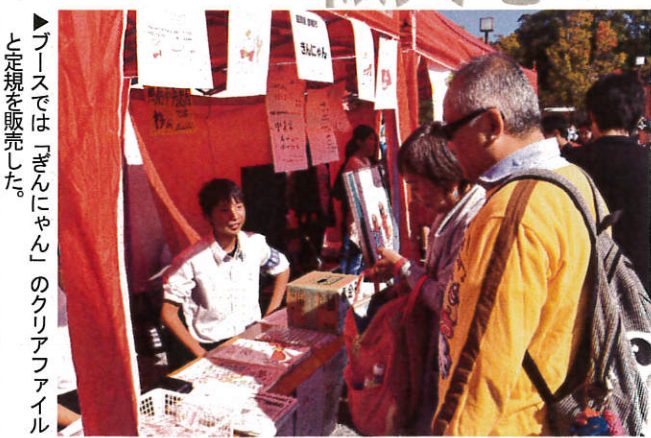
ご当地キャラ博in彦根2016



▲募金を呼びかける「ぎんにゃん」と本校新聞部員

▲本校新聞部員とともに募金活動をした福島県立白河高校の生徒と福島県白河市公式ご当地キャラクター「しらかわん」

福島・熊本に被災地への想い、届け



▲ブースでは「ぎんにゃん」のクリアファイルと定規を販売した。

イベントでは本校新聞部が彦根東高校公式キャラクター「ぎんにゃん」とともにイベント参加者に向けて募金を呼びかけ、子どもからお年寄りまで幅広い年代の方に募金していただいた。今回の活動で1

10月15日・16日に夢京橋キャッスルロードや四番町スクエア、京橋駐車場などでご当地キャラ博in彦根2016が開催された。本校新聞部が福島県と熊本県の子どもたちのために募金活動を行った。

日目に5万4586円、2日目に4万8681円、2日間で計10万3267円の募金が集まり、昨年の募金額を2万円以上上回った。募金活動に参加した新聞部員は「たくさんの方に募金していただくことができてとてもうれしく、心が温まった」と話した。また会場内のブースでは「ぎんにゃん」グッズの販売も行い、1日目に1万1200円、2日目に3万7350円、2日間で計4万8550円を売り上げた。募金してくださった方にはお礼として本校で穫れた銀杏を手渡した。なお集まった募金と「ぎんにゃん」グッズの売り上げは全額福島県と熊本県の子どもたちに寄付される。



▲本校の中庭で穫れた銀杏を配った。

彦根東高校新聞

速報新聞
キマグレ
発行所
彦根東高等学校
新聞部
彦根市金亀町4番7号